

令和 7 年度

第 1 回 那須町総合教育会議 会議録

那須町教育委員会

令和7年度 第1回那須町総合教育会議録

令和7年6月10日13時30分から、令和7年度第1回那須町総合教育会議が開催され、その結果は次のとおりであります。

1 本会議の出席者は次のとおりであります。

町長部局

町長	平山 幸宏
総務課長	池沢 秀勝
財政課長	齋藤 憲彦

教育委員会

教育長	平久井好一
教育委員	菊地 厚子
教育委員	大森源一郎
教育委員	菊地 昭一
教育委員	金田裕美子
学校教育課長	島村 育男
生涯学習課長	人見 英樹
こども未来課長	赤羽根泰啓
学校教育課長補佐	藤田 健一
こども未来課係長	渡邊 洋介

1 本会議の議事は次のとおりであります。

協議事項

(1) 子育て支援センターにおける地域子育て支援拠点事業の利用促進について

(2) その他

1 開 会

島村学校教育課長

定刻となりましたので、ただ今より令和7年度第1回那須町総合教育会議を開催いたします。進行を務めさせていただきます学校教育課の島村と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

はじめに、平山町長よりご挨拶をお願いいたします。

2 あいさつ（平山町長）

教育委員の皆様には日頃から、本町の教育行政の推進にご尽力を賜り感謝を申し上げます。

本日はお忙しい中、第1回総合教育会議にご出席いただき、誠にありがとうございます。

総合教育会議は、町の教育、子育て、地域づくりに関して、教育委員会と町が一体となって協議し、連携を深めていくための大変重要な場です。少子化や地域の高齢化が進行する中、子どもたちが健やかに育ち、生き生きと学び、将来にわたってふるさとに誇りをもてるような教育環境の整備は、町政の重要な柱の一つと考えております。

本町においても、学校教育と社会教育の両面から子どもたちの成長を支える取り組みに加え、幼保小中連携を掲げ、教育委員会内にこども未来課の所管替えを行い、3年が経過いたしました。今後も ICT 教育の推進、地域との協働による教育活動、いじめや不登校への対応など、喫緊の課題に対し、現場の実情を踏まえた具体的な方策を協議し、実効性ある施策を共に構築していきたいと考えております。

本日は、子育て支援センターの利用促進に関して、皆様からの貴重なご意見をいただき、より良い町の教育の未来を築くための実りのある議論となることを期待しております。どうぞよろしくお願いいたします。

島村学校教育課長

それでは、協議事項に移らせていただきます。

那須町総合教育会議設置要綱第4条第1項により、町長を議長として進めさせていただきます。

3 会議録の承認

議長：平山町長

それでは、本会議を主宰する立場から議長を務めさせていただきます。

円滑な議事運営に努めたいと思いますので、ご協力をお願いいたします。

はじめに、会議録の承認について学校教育課長より説明をお願いします。

島村学校教育課長

総合教育会議の会議録は、那須町総合教育会議設置要綱第7条において、公表することになっております。

昨年度第3回の総合教育会議の会議録について説明させていただき、公表について承認をいただきたくお願いいたします。

会議録に沿って説明

議長：平山町長

ありがとうございました。

ここで、5分程度、お時間を取りますので、会議録の内容についてご確認をお願いします。

～内容確認～

それでは、会議録について、ご意見やご質問などがございましたら、お願いいたします。

全出席者

ありません。

議長：平山町長

ご確認をいただきまして、ありがとうございました。

それでは、会議録について承認をいただけますか。

全出席者

承認

議長：平山町長

ありがとうございました。

4 協議事項

それでは、(1)子育て支援センターにおける地域子育て支援拠点事業の利用促進について、意見交換をさせていただきます。

事務局から子育て支援センターの現状および今後の見通しについて、説明を求めます。

～こども未来課長説明～

議長：平山町長

それでは、ご意見、ご感想などがございましたら、お願いいたします。

菊地(厚)委員

私は、主任児童委員という立場上、子育て支援センターとは深いつながりがあると思っております。毎月、ママと赤ちゃんのリフレッシュ教室に出させていただいておりますが、最近参加して来られる家族が激減しており、生まれてくる赤ちゃんが少ないので当然の事ですが、ここ数年で大きく変わったと実感しております。子育ての先生に継続して来ていただいておりますが、支援センターの仕組みがとても理想的で、窓口一つで何でも済んでしまう環境は他にはないと常々おっしゃっております。本当にその通りで、専門のスタッフがあり、相談があって窓口にお越しいただいても万全の体制を整えており、それは那須町の目玉だと思います。

リフレッシュ教室に参加している方には、家庭環境を把握したいと思ってお声がけをしておりますが、そういう事業に参加されない方は心配だなと思います。ご案内はしていると思いますが、参加されない家庭はピックアップして、関わりをこちらから持つ必要があると感じております。

リフレッシュ教室に参加されている方は、同じ子育てをしている仲間ができ、スタッフとの関係性も出来てくる理想的な形だと思いますが、家庭の状況が分からないというのが現状です。個別の関わりがもう少しあれば、把握できるのかなと思います。子どもの数が減っているので、一人に対して手厚いサポートができ、専門のスタッフが配置されておりますので、どんどん利用してほしいと思いますし、私たちも何かできることがあれば、お役に立ちたいと思っております。遊びの状況などもスタッフと馴染んでいる感じもあり、とても良い雰囲気だと思っております。

議長：平山町長

ありがとうございます。

転入してくる方々が、知っているかどうかで大きく変わるのかなと思いました。利用していない方には積極的に案内をしていただきたいと思います。

平久井教育長

子育て支援について、那須町は丁寧にやっていると感じます。わくわくキッズルームでの親同士の出会いで親は何を求めているのかということと、同級生にどんな子がいるのか、親はどんな人たちなのか、病院や遊び場は町内外どんなところにあるのかなど子育てに関する情報を得たいのだと思います。わくわくキッズルームは、毎週おこなっているということで非常に良いことだと思いますが、保育園に入ると参加人数が極端に減ってしまいます。お子さんを保育園に預けて働いているので、平日におこなっている、わくわくキッズルームには参加できないのが現状です。参加して他の親と交流したいという意見もあるので、土日におこなうなど検討していただきたいと思います。

大森委員

子育てする親にとっては、こういう支援センターがあるということは大変良いことだし心強いと思います。利用者数が少ないのは、参加しても楽しくないとか価値がないとっていたり、暇がないのか、その辺はよく検討しなければならないと思います。

子育ての不安感や負担感が増えてきているとありますが、町としては把握できているのですか。訪問すればある程度わかるかと思いますが、具体的にまとめていって改善策を見出せば良いと思います。

参加人数を増やすためには、曜日を変えて、みんなが参加しやすいようにすることと、楽しくなるような企画を考えて参加を呼びかけることかなと思います。

議長：平山町長

ありがとうございます。

現状の今後の課題や検討事項の話し合いができれば良いのかなと思います。

金田委員

今の子育て支援センターは、かなりプロフェッショナルな方たちが配置されており、体制は万全なのですが、子どもの生まれる数が少ないので、当然、利用数も少なくなります。今は共働きがスタンダードなので、忙しい平日はこちらから伺って、家庭サービスをさせていただいて、土日にイベントを持ってきて、サービスを受けている方たちが対面できるような仕掛けが必要だなと思います。

子育て経験のある方たちの雇用も踏まえて、共働き世代のお家へ行って、例えば夕ご飯を作るとか、ナニーサービス事業のようなものがあると助かるのかなと思います。プロの方と違い、お手伝いに来ているというスタンスであれば愚痴や核心に触れるような情報も話し易いのかなと思います。家庭に入って、どういう家族構成なのかなどデータとして集めて、プロの方たちとシェアしていくことができれば、一番ニーズに合っているのではないかなと思います。

平日は子育て支援センターに不登校の子どもたちが、気軽に来て自学をしたり、話をしたり、本を読んだりして、プロの方たちと自然な形で話し合うということがあっても良いのかなと思います。アクティブシニアの方たちにもボランティアとして参加してもらえれば、フレイル予防にもなると思います。そういう子育て支援センターのあり方も良いのではないかなと感じております。

議長：平山町長

ありがとうございます。

いろいろな課題がたくさんあると思いますが、金田委員さんや以前利用されていた方たちの意見を参考にいただければと思います。子育て支援センターに不登校の子どもたちが行くということは可能なのでしょうか。

赤羽根こども未来課長

現在、小学生が夕方に来ておりますので、利用については特に制約はなく、相談等もできると思います。

金田委員

不登校の子どもが一人で家にいるよりは、子育て支援センターに来れば安心できるし、お母さんも一緒に来たら同じ環境のお母さん方と情報共有ができて、そこにはプロフェッショナルの方がおりますので支援につながり、教育支援相談室と並行してできれば流動的で良いのかなと思います。

保育園に預ける方が多く、保育士さんを確保するのが難しい状況で、例えば保育園の子どもたちが子育て支援センターに遊びに来て、そこに子育て経験のある方たちをヘルパー事業として配置して、子どもたちを遊ばせるということも良いのではないかなと思います。

菊地(昭)委員

子育て支援センターの利用が減っているというのは、相談件数が減っているということですか。利用者数が激減してきたのは、出生率が少ないこともあると思いますが、相談しなくても良いとか、親の判断で来ないのかなのですか。

那須町の 6.7 割は家庭で子育てしているということですので、呼び込むことはできると思いますが、親が人と関わりを持ちたくないという考えもあると思います。そういう考えの親を打破するには、例えば一、二歳の頃から読み聞かせをしていると、言葉がわからなくても小学校に上がる頃にはスタートダッシュができるなど、町が子どもの未来をみつめて、その親に優しく語らなければ駄目なのではないかなと思います。曜日の問題ではないのかなと思います。

那須町のこども未来課独自のイベントを考える必要があると思います。プロのスタッフを交えて考えればきっと良いアイデアが出ると思います。どこからか引っ張り出してきたようなイベントではなくて、那須町にしかないアイデアを絞り出すことが大事な事だと思います。

金田委員

幼稚園では、幼稚園の風景やスタッフの言葉などインスタで発信して、保育士さんの確保につながっているという例がたくさんあります。例えば子育て支援センターの写真、スタッフさんの言葉や経験など、インスタであれば町外の方が見ることもありますし、大々的に町として発信できれば忙しい方でも見られるのではないかなと思いました。

大森委員

時代が変わってきているのに、旧体制でやっていこうとするところに無理があるのではないかと考えます。この子育て支援センターの組織というものも、どうしていかを考えなければならない時代に来ているのではないかと思います。子どもたちが集まりやすい雰囲気をつくって、気軽に使える施設、これが理想じゃないかと思います。当然そこに親も来て、親同士で話をしたりしてサロン風になって、そんな組織改革をしていったら良いのではないかなと思います。楽しくなかったら誰も行かないですよ。

議長：平山町長

子育て支援センターは、子どもに対してだけでなく、困っている親御さんの相談にのれるようにと思って考えております。そういう方の参考になり、一番の味方になって欲しい場所だと思います。

菊地(昭)委員

訪問して生活状況や精神状態を把握することも大事なと思います。本当の支援が必要な親子がいるかもしれないし、そういう人たちには、生の声で伝えるというのが一番心に響くと思います。何かあったらいつでも大丈夫ですと伝えることで、安心するというのはあると思います。

大森委員

個別訪問しているということですが、どんな方がいらっしゃるのですか。

赤羽根こども未来課長

保健師さんが訪問しております。

大森委員

分かりました。

平久井教育長

非常に良いことをやっていて人が来ない、今の教育委員さんのご意見が随分参考になると思います。点を線でつないだり、面にしたりという作業が必要なのかなと思っております。例えば、ファミリーサポート事業も、提供者と利用する方たちが顔合わせをすることで安心することができるし、提供会員が少ないのであれば、シルバー人材センターに男性だけでなく女性もどんどん登録していただいて、活躍してもらうような制度を作るのも必要だと思います。ぜひお願いしたいと思います。

那須町に最も必要なものは何かというと、家庭教育について誰かに相談したり意見交換したりする機会だと思います。以前、高濱先生に家庭教育講演会でご講演いただいた折、ある

方から、毎年講演会を開催して下さいと言われてまして、そういうのを繰り返す必要があると感じました。

議長：平山町長

貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございました。

いただきましたご意見等については、今後の地域子育て支援拠点事業の利用促進に向けて参考とさせていただきます。

それでは、次の協議とさせていただきます。

議長：平山町長

次に、(2)その他について、各課より何かありましたら、説明をお願いします。

(学校教育課長・生涯学習課長・こども未来課長)

全課長

ありません。

議長：平山町長

無いようですので、以上で、議題に関する協議は終了いたします。

貴重なお時間をいただき、充実した会議となりましたことに、お礼を申し上げます。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

それでは議長の任を解かせていただきます。

5 その他

島村学校教育課長

それでは、その他に移りますが、皆様から何かございますか。

池沢総務課長

総務課の方から情報提供させていただきたい案件がございます。

自治公民館が、いろいろな問題があり活動が休止状態となっていることで、自治会連合会の会長、副会長の4名と課題を上げて話し合いをしたいと思っております。その後、課題を持ち合って自治会の方々との意見交換をする予定であります。

平山町長

行政で結論がでる前に話を聞ける状況を作っていないとまずいのかなと思います。総会の時に、役員のなり手がなく解散という結果をだされてしまうと、協議することも出来なくなってしまう。各自治会長さんや班長さんに一度持ち帰ってもらって、今後どうするの

か、もしくは地域と地域を統合するという形もありますし、一度解散してしまったら次に続かなくなってしまうと思います。

菊地(昭)委員

災害があった地区の話をするのが良いのではないかと思います。地震や台風などの災害時に連携できるのは自治会ですので、解散してしまうと何かあった時に何もできないし、誰も指示をだせず混乱してしまうでしょう。ですので自治会というのは必要だということを伝えなければいけないと思います。

大森委員

確認したいのですが、自治会というのは町の方針として作った会ではないのですか。

池沢総務課長

地域課題を解決するための地縁団体で、かなり昔からあるものです。

大森委員

自治公民館は各所組織なので、解散も可能かもしれませんが、自治会までなくなってしまうたらコミュニティが全くなくなってしまう、町との関わりなどどうするのですか。

池沢総務課長

何かあった時に、地域全体に伝わらなくなることが一番の問題で、心配しております。

平山町長

分譲地の中にも自治会ができれば良いなという思いがありますが、人数がまとまらず作ることが難しいようです。

池沢総務課長

那須町は10,700世帯ほどありますが、自治会加入率は56%です。

平山町長

町の情報もホームページなどで対応できますが、誰かまとめ役の方がいて自治会を行ってほしいと思っております。

菊地(昭)委員

自治会長の仕事を減らしてあげることができれば、なり手不足も少しは改善されるのではないかなと思います。

大森委員

自治公民館、社会福祉それぞれ役員の方の負担が大きくなると、解散したほうが良いという事になってしまうので、全体的に考えていかなければならないと思います。

平久井教育長

行政の方で、ある程度話し合いを持って方向性を示さなければ元に戻らないのではないかなと思います。

池沢総務課長

自治会長さんたちもいろいろ頭を痛めているようで、他の地区での近所付き合いに疲れてしまって、ここにきて新たな近所付き合いに抵抗があるという方もいらっしゃるようです。

平山町長

解散ではなく、統合をすすめてみて、統合を考えるならもう一度真剣に考えてくれる可能性もあると思います。

大森委員

この間の会議の時は、どんな状況だったのですか。

池沢総務課長

自治会が88あるのですが、勧誘してもなかなか入ってもらえず、行事の参加人数も少なく、役員さんだけで集まっているような状態です。

大森委員

統合することで地域が大きくなり嫌だということになるのではないですかね。難しいですよ。なくす方向ではなく、残す方向で考えなければなりませんと思います。

島村学校教育課長

ありがとうございます。他に無ければ、これをもちまして協議事項はすべて終了させていただきます。

6 閉会

島村学校教育課長

閉会にあたり、教育委員を代表して平久井教育長よりご挨拶をいただきます。

平久井教育長

本日はお忙しい中、また貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございます。まず、事務局の方に関してですが、よくこういうテーマを選んでいただいたなと感謝申し上げます。何故かと言いますと、総合教育会議で子育てについて話し合う町は他にないと思います。こども未来課が教育委員会に属している那須町ならではのと思います。

日頃より平山町長は子育て支援に力を入れるということで、こども未来課が教育委員会に属するときに何ができるかなと、少し不安や緊張を感じた部分もあります。保育園、幼稚園、小中学校の連携については、教育委員さんにも全部回っていただいたりしました。教育委員会に属してから三年になり、なんとなく形になりそうだなと感じていると思いますが、子育てについては、なかなか見ているようで見えていないんですね。ぜひ機会があれば見学などもできれば良いなと思っております。

本日のテーマですが、保育園、幼稚園に上がるまでの子どもたちと親御さんをどうサポートできるかということで那須町は行っております。点が線や面になるような取組みができれば、町長が目指す子育て支援に力を入れている町につながるのかなと思います。イベントなどを行うのにアンケートを取ったりして、多くの方が参加できるようにしていただければ、ありがたいなと思います。

ファミリーサポート制度の利用者が少ないのですが、サポートする人と利用する人が、お互いに顔を合わせる機会があっても良いのではないかという意見を聞いたことがあります。サポートする人を発掘するような取組みも必要だと思います。シルバー人材センターに男性だけでなく女性も登録していただくことも、一つのきっかけになるのかなと思います。

那須町の大きな課題は、小さいお子さんをもつ親の家庭教育です。家庭の中に公の立場でなかなか入れないと思いますが、そういう状況にあっても、子育てに関する講演会や子どもが集まる行事をたくさん企画してなんとかするのが我々行政の仕事だと思っております。子どもが小さいときに、親同士が仲間意識を持って子育てについて話をする場がつながれば、子育て世代の親が求めるものになると思います。本日は非常に良いアイデアをいただいたなと思っております。ありがとうございます。また今後ともお世話になります。よろしくお願いします。

島村学校教育課長

以上で令和7年度第1回那須町総合教育会議を閉会といたします。

本日はありがとうございました。